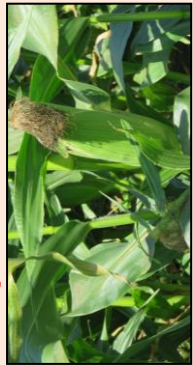


スイートコーン



産出額 (億円) : 94
シェア (%) : 24.6
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

とうもろこしの中でも甘みが強い品種の総称である。身が白い品種（ニホアホワイト）もある。近年では、より柔らかくて甘い品種が普及している。
北海道十勝地方の中西部に位置する新栄町が北海道十勝・生産量ともに日本一を誇り、収穫作付面積、生産量ともに日本一を誇り、収穫時期は、8月初旬から9月中旬までとなる。

だいこん

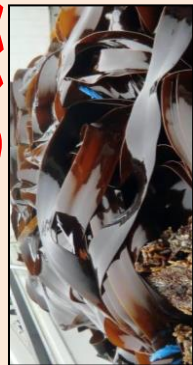


産出額 (億円) : 95
シェア (%) : 11.9
順位: 2位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

令和3年の都道府県別収穫量は、北海道が14万3,200t（11.4%）で全国2位となっている。1位は、千葉県で14万7,500t（11.8%）。道内の主な産地は、十勝地域や後志地域である。

こんぶ類



産出額 (億円) : 138
シェア (%) : 97.9
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

全国トップクラスの昆布の生産量を誇る北海道では、サケやニシンなどの魚を塩布で巻いた「昆布巻き」が根づいている。北海道産としては、「和原昆布」や「日高昆布」、「羅臼昆布」が全国的に有名である。

さけ類



産出額 (億円) : 370
シェア (%) : 91.1
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

鮭は川で生まれ、海に下って成長し、雪び生まれた川に戻り、卵を産む。同じ年に同じ川で生まれた鮭でも、河川に帰ることはなく、2〜3年の間に別々に帰ってくる。
北海道では、鮭を使った「ちゃんちゃん焼き」「石狩鍋」などの郷土料理が有名である。

肉用牛



産出額 (億円) : 960
シェア (%) : 14.0
順位: 2位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

飼養戸数は2,240戸（令和4年）で全国の6%。飼養頭数は55万3,300頭（令和4年）で、種類別にみると、黒毛和種35%、ホルスタイン種32%、交雑種32%の順。一戸当たり飼養頭数は247頭（都府県54頭）。

にんじん



産出額 (億円) : 123
シェア (%) : 21.3
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

国内で栽培されているほとんどの品種は、芯まで赤く甘味の強い西洋種の「五寸にんじん」の系統である。にんじんは比較的低温を好む作物で、生育の適温は18〜21℃。道内で7月頃から出荷が盛んになる。秋に収穫せず、雪の下で越冬させた「雪下にんじん」は3月頃に収穫を迎える。

ブロッコリー



産出額 (億円) : 121
シェア (%) : 23.6
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

涼しい気候を好み、秋から冬は埼玉県や愛知県で、夏場は北海道で盛んに作られる。北海道の収穫量は27,900t（令和3年産）である。アブラナ科の野菜で、一般に菜の花と呼ばれる植物の仲間になる。普段食べられている部分は、花の蕾（つぼみ）の部分である。

やまのいも



産出額 (億円) : 152
シェア (%) : 36.5
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

中国が原産地で、イモの形により円筒形の「ながいも」、扁平（へんぺい）形の「いちよういも」、球形の「やまといも」の3つの品種群に大別される。北海道十勝地域の代表的な作物である。なお、自然薯は日本が原産地で、植物学では山芋（ながいも、いちよういも、やまといも）とは別に分類される。

たら類



産出額 (億円) : 148
シェア (%) : 81.8
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

マダラ、スケトウダラ、マコイなどの種類がある。一般的に「たらこ」と呼ばれるものは、スケトウダラの卵巣を塩漬けにしたものを指すことが多い。

ほたてがい



産出額 (億円) : 391
シェア (%) : 99.5
順位: 1位

令和2年における北海道の値。
※シェア・順位は全国に対する値。

日本の貝類は大きく二枚貝と巻き貝に分けられる。二枚貝はホタテやカキ、アサリや赤貝、イカリなど。巻き貝はサザエやツブなど。アフリカにも巻き貝の仲間がある。食べることができ、貝殻以外のほとんどの部位が食べることができ、特に貝柱は甘みがある。貝殻は、刺身や、バタール、刺身などに調理されるほか、ソフト貝柱などに加工されている。